

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋市立中央看護専門学校
設置者名	名古屋市

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	看護第一学科	夜・通信	21 単位	9 単位	
	看護第二学科	夜・通信	21 単位	12 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ウェブサイトに掲載 (http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/19-5-2-4-0-0-0-0-0-0.html)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	名古屋市立中央看護専門学校
設置者名	名古屋市

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	名古屋市立中央看護専門学校運営委員会
役割	学生募集、前年度実施の入学試験の状況、卒業生の進路状況、国家試験結果の推移等について報告を行うとともに、必要に応じて、教育課程、学生の進路指導、学校評価、その他運営に関することについて審議する。入学試験の実施方法については委員会の議決をもって決定する等、委員の意見を取り入れつつ学校運営を行っている。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
名古屋市立東部医療センター病院病院長	在職期間	実習施設
名古屋市立西部医療センター病院病院長	在職期間	実習施設
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋市立中央看護専門学校
設置者名	名古屋市

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育課程については、保健師助産師看護師法、保健師助産師看護師法施行令及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインを基に、教務課において、カリキュラム調整会議とカリキュラム運営会議で検討・編成し企画運営会議の承認を得て愛知県保健医療局健康医務部医務課に申請し認可を受ける。毎年、授業担当者は、授業科目目標、授業内容から授業計画・授業案を作成し、教務課の講師会議を経て、授業担当者各自が授業計画を作成する。学生に入学時に履修要覧を配布する。履修要覧には履修科目ごとの科目名・科目目標・学習目標・学習内容・評価方法・単位・時間・配当年次を記載している。科目の初講時には、上記に加え各授業ごとの授業計画を学生に説明している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本校ウェブサイトに掲載 (http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/19-5-2-4-0-0-0-0-0-0.html)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各履修科目の特性を踏まえ、評価方法を決定し評価をしている</p> <p>評価方法は、形成的評価、総括的評価とし、授業科目ごとの担当教員により行う。評価用具の主なものは、講義・演習では「筆記・レポート・口述・実技等」による。実習は、看護実践を知識・技術・態度の3側面から、教員・臨地実習指導者と相談し評価する。評価された科目は、厳格かつ適正に単位認定及び履修承認委員会を開催し単位授与又は履修認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>試験の評価は、当該試験を実施した教員等により行う。成績の評価基準は、80～100点をA、70～79点をB、60～69点をC、60点未満をDとする。</p> <p>以上の評価基準をもとに、学生の成績の相対的な位置及び分布状況を把握するため、GPAを算出する。評価AをGP4.0、評価BをGP3.0、評価CをGP2.0、評価DをGP0.0と定め、以下の式のとおり計算を行う。</p> <p>(評価Aの単位数×4.0+評価Bの単位数×3.0+評価Cの単位数×2.0+評価Dの単位数×0.0) ÷ (評価Aの単位数+Bの単位数+Cの単位数+Dの単位数)</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>本校ウェブサイトに掲載 (http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/19-5-2-4-0-0-0-0-0-0.html)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定については、学則及び内規に記載している。卒業認定委員会を開催し、全教科科目の履修および教科外活動の出席状況を審議し、卒業の認定を行っている。教育理念をもとに教育目的・目標を定め、それに基づき科目の構成を行い、教授をしている。その考え方は、ディプロマポリシー(卒業生の特性)を目指しており、基本的には、授業科目はそれらを考えて作られ、評価したものである。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>本校ウェブサイトに掲載 (http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/19-5-2-4-0-0-0-0-0-0.html)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋市立中央看護専門学校
設置者名	名古屋市

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	看護第一学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	97単位	47単位	26単位	23単位	0単位	1単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		126人	0人	14人	125人	137人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	看護第二学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	97単位	47単位	26単位	23単位	0単位	1単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		146人	0人	15人	125人	139人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）学生に入学時に履修要覧を配布する。履修要覧には履修科目ごとの科目名・科目目標・学習目標・学習内容・評価方法・単位・時間・配当年次を記載している。科目の初講時には、上記に加え各授業ごとの授業計画を学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要）各履修科目の特性を踏まえ、評価方法を決定し評価をしている。厳格かつ適正に単位認定及び履修承認委員会を開催し単位授与又は履修認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定については、学則及び内規に記載している。卒業認定委員会を開催し、全教科科目の履修および教科外活動の出席状況を審議し、卒業の認定を行っている。
学修支援等
（概要）年次担当制をとり、生活指導・学習指導を密に行っている。また実習指導においては、多様な教員の指導を受けられる実習計画としている。メンタルヘルスについてもカウンセラーや年次担当の面接など相談支援体制をとっている。

看護第一学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	35人 (97.2%)	1人 (2.8%)
（主な就職、業界等） 病院等医療機関			
（就職指導内容） 教員による相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 1. 看護師国家試験の受験資格が得られる。 2. 保健師・助産師学校の受験資格が得られる。 3. 大学の編入試験の受験資格が得られる。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
127人	4人	3.1%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教員の個別面接指導等（1クラス3～4人で担任）、カウンセラーの配置（月3回）		

看護第二学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	2人 (5.9%)	25人 (73.5%)	7人 (20.6%)
(主な就職、業界等) 病院等医療機関			
(就職指導内容) 教員による相談			
(主な学修成果（資格・検定等）) 1. 看護師国家試験の受験資格が得られる。 2. 保健師・助産師学校の受験資格が得られる。 3. 大学の編入試験の受験資格が得られる。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
146人	6人	4.1%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教員の個別面接指導等(1クラス3~4人で担任)、カウンセラーの配置(月3回)、 相談員による相談(職場関係)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
看護第一学科	100,000円	164,700円	円	
看護第二学科	100,000円	164,700円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校事務窓口にて閲覧		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 2020年7月までに学校関係者評価の実施・公表を行う。学校関係者及び医療関係者等から構成した学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果をもとに、必要に応じて教育課程及び運営の評価、入学・就業等の評価、その他必要事項に関することについて審議する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
名古屋市立東部医療センター病院 看護部長	1年	医療関係者
名古屋市立西部医療センター病院 看護部長	1年	医療関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「令和元年度自己評価報告書」を窓口に設置する。		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ウェブサイトに掲載 (http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/19-5-2-4-0-0-0-0-0-0-0.html)
